

平成 25 年度 事 業 報 告

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

日本の経済状況は、一昨年末の国政選挙により政権交代があり、景気回復が期待されましたが、まだまだ経済環境は不透明です。

民間では、長引く不況で企業の業績悪化による雇用情勢が低迷するなど、県下の各シルバー人材センターで、事業契約額が減少し、運営は厳しい状況です。

当シルバー人材センターにおいても、年間事業契約額は大手企業の契約解除等により、前年度対比 1,769 千円の減額（99.4%）の 291,376 千円で、目標にしてきた 3 億円達成ができませんでした。

依然として運営は厳しい状況ではありますが、平成 26 年度の年間契約金額を 3 億円の目標とします。

会員数については、団塊世代の退職者の入会が見込まれましたが、定年延長、再雇用、景気の状態及び会員の高齢化等により、入会者 66 名に対し退会者 67 名で 1 名の減の 499 名となりました。

次に主な事業について報告します。

- 新規就業先の開拓と就業場所の拡大
 - ✓ シルバー派遣事業実施に関する協定書を平成 25 年 12 月 18 日、公益社団法人静岡県シルバー人材センター連合会と締結しました。
 - ✓ 派遣事業の推進及び請負契約の拡大、新規就業の開拓に取

組む為、事業所の訪問（16社）を実施しました。

- ✓ 行政と連携し、家事援助事業等の検討をし、平成26年度から実施することになりました。

➤ 地域社会へ貢献の事業の推進

- ✓ 地域の奉仕活動（剪定・草取等）、県シ連主催の「シルバーの日」奉仕活動に参加（河川敷のゴミ拾い）しました。また、大仁地区会員有志による市役所庁舎及び葦山反射炉の4ヶ所への手作りの門松設置。
- ✓ 竹細工同好会が葦山中学校において竹細工教室の開催、あゆみ保育園へ竹細工教材の贈呈等を行いました。
- ✓ 市主催の「交通安全早朝一斉街頭広報」へ年4回参加しました。

➤ 安全就業の推進及び会員の技能向上を図る

- ✓ 大仁警察署の交通安全講習会、安全委員会によるパトロール強化により、就業事故防止に努めました。
- ✓ 松の芽摘み及び葉揉み剪定講習会の実施、刈払機の取扱い講習会への参加「技術・技能」の向上を図りました。

➤ 普及宣伝活動の推進

- ✓ 会報「シルバー伊豆の国市」の年4回発行とホームページの充実を図り、会員及び市民への情報発信に努めました。
- ✓ 「シルバーふれあいまつり」の開催及び各種イベントに参加しシルバー事業の内容について普及宣伝に努めました。